



本康歯科ニュース



世界中のどの歯医者に行くよりも、この歯医者に来て良かった！！」と思ってもらえる歯科医院めざして！

かかりつけ歯科医をお持ちですか？

かかりつけ歯科医とは、虫歯などの治療のためだけに行くのではなく、日頃から予防やケアのために気軽に行ける地域の歯科医の事です。

現在日本は超高齢社会に突入し、それを支えるために、それぞれの市区町村で地域包括ケアシステムの取り組みが始まりました。その一翼を担っているのが、かかりつけ歯科医です。

高齢化に伴って健康長寿を実現するために、注意が必要なのは、フレイル（虚弱）です。高齢になると誰もが日常生活に不具合を感じる身体の虚弱、認知機能の低下やうつといった精神の虚弱、閉じこもりや孤食など社会参加の低下による社会性の虚弱。虚弱は身体だけではなく口腔内にも現れ、オーラル(口腔)フレイル（虚弱）といわれています。活舌が悪くなったり、食べこぼしたり、わずかなものでむせてしまう状態を指します。これらは、身体のフレイルとも密接につながっています。高齢者にとって、オーラルフレイルは、誤嚥性肺炎の大きな原因のひとつにもなっています。

加齢によるオーラルフレイルや摂食嚥下機能の低下を防ぐためにも、日頃の口腔ケアを意識しましょう。

現在、多くの自治体が歯周病検診事業を実施していますので、この歯科健診を受診されることでかかりつけ歯科医を見つけるのもひとつの方法です。

歯が痛いときに行くのではなく、日ごろからサポートしてくれる歯科医。予防のために適切な助言をし、専門的な口腔ケアをしてくれるかかりつけ歯科医をぜひ皆さんもお持ちください。そして、かかりつけ歯科医はぜひ歯科医師会に加入している先生から探してください。歯科医師会では常に最新の知見を医師会や薬剤師会や看護師やケアマネジャーや介護施設や行政等々と共有し、全身の健康に及ぼす影響も一緒に研究して研鑽を積んでいます。

えー！ホント？ “歯とお口”のトリビア



ロボットが歯科業界で活躍する！？

近年、ロボットが接客するホテルがオープンしたり、ロボットの愛犬が発売されたり、何かと話題になるロボット。実は、**歯科業界でもロボットに注目が集まっています。** 鹿児島大学大学院歯科総合研究科では、**歯の治療をするロボットの試作品が完成**したそうです。「えっ、ロボットが治療をするの!？」と心配になった人もいられるかもしれませんが、あくまでも治療のサポート役となるロボットの開発です。お口の中の状態は一人ひとり異なるものですから、診察や治療計画といった部分は歯科医師がしっかり行い、ロボットが作業の手伝いをする、こういったイメージだそうです。また、電気通信大学大学院情報理工学研究科では、**口の周りの筋力を高めるゲーム「スカッチュ」を開発**しました。ユニークなのが**ゲームの操作に、舌や唇を使う**点です。舌や唇の形や動きを感知する機能があり、**ゲームを楽しみながら口腔機能を高められる**そうですよ。

